

# 虐待防止委員会

---

## 目標

正しい知識と判断力を持ち虐待の芽となる言動・態度、身体拘束の適正化を理解し質の良いサービスの提供ができる環境作りを目指していきます

---

1. 不適切な言動、態度ではないか自問し修正のできる落ち着いた行動とお互いに注意できる環境を作る
2. ご意見箱を活用し内容の分析を周知し利用者様へ質の良い接遇とサービスの提供、職員同士マナーのある会話をする事ができる
3. 身体拘束の必要性のアセスメントを明確に正しく理解した行動と記録ができる
4. 虐待防止、身体拘束防止となる注意喚起の掲示物を作成し職員の自覚、自省を促す

## 年間計画

1. 全職員に月1回ご意見箱に自由記載で投函できるよう個人名を記入した用紙を直接手渡し、朝礼を利用して投函の協力を周知していく
2. 投函されたご意見を確認し内容により事業推進にて速やかな対応、情報を委員会、各部署の会議を利用し共有、改善に向け意見交換などを行い改善策を実践し、経過・結果を確認、内容は職員玄関に掲示する。毎月投函枚数・内容の分類にわけ年間の統計・評価に活かしていく
3. 高齢者虐待、身体拘束の研修を実施する(外部講師の検討)
4. 身体拘束の適正化に向けた取組として身体拘束者の必要性の根拠を把握し現状を記録し各部署の会議で振り返りを持ち不適正な点がある場合は正しく修正した内容を共有していく
5. 高齢者虐待、身体拘束に関連するポスターの作成する(年2回)